

5/15 青春の証 汗と涙と感動を！ 大田原高等学校 85 キロ強歩



5月15日・16日に、大田原高等学校の伝統行事「第36回85キロ強歩」が開催されました。ここ数年、コロナ禍での中止や悪天候による打ち切りなどで本来の距離での開催ができずにいましたが、生徒達は互いに励まし合いながら一昼夜かけて歩き、今回5年ぶりとなる85キロの完全踏破が成し遂げられました。

5/22 受賞結果を市長に報告 コミュニティ活動功労者知事表彰



金田南部地区コミュニティ推進協議会は、昭和54年4月に設立されて以来、45年の長きにわたり、住みよい地域社会の実現のためコミュニティづくりを推進したことから、知事表彰を受賞しました。

これまでの活動に敬意を表するとともに、今後の活動に期待いたします。

5/29 卓越した技能を称えて 技能奨励賞授与式



技能奨励賞授与式は、職業能力開発促進法に基づく国家検定である技能検定試験において、1級および単一等級に合格された方々の卓越した技能を称えるものとして実施しています。今回は3名(出席者1名)の合格者が受賞されました。習得された技術の練磨とさらなるご活躍が期待されます。

5/18 名刀大集合！ 那須野与一伝承館共催展「平安から現代の名刀」開催



日本美術刀剣保存協会栃木県支部の設立75周年を記念し、那須野与一伝承館で開催しました。展示会では、与一が使ったと伝わる太刀(銘、成高)や太刀(銘、則重)などの名刀39口、刀装具20点を公開しました。市民のみならず、県外(北は北海道、南は沖縄県)の多くの方にもご覧いただきました。

5/26 “堀の中”笑顔と歓声 旧黒羽刑務所跡地「大田原こどもまつり」開催



地域の活性化を図ろうと、市内事業主による実行委員会は、寒井の旧黒羽刑務所跡地で、初の「大田原こどもまつり」を開催しました。

大勢の家族連れが非日常の空間で様々な催しを楽しみ、特に普段見られない受刑者収容棟を見学するツアーは終日長蛇の列ができるほど人気を博していました。

6/5 長年の寄附ありがとうございます 日之出水道機器株式会社からの寄附



6月5日、図書館への寄附として、日之出水道機器株式会社栃木工場(下石上)の江藤 勲 工場長から相馬市長に寄附金50万円の目録が手渡されました。

寄附金は、書籍や視聴覚資料の購入に活用させていただきます。ありがとうございました。

『かぐや姫の里』

投稿者：散歩人(薄葉)
撮影場所：薄葉第二団地付近

薄葉第二団地に隣接した林で撮影しました。

まるで「かぐや姫」が出て来るメルヘンな物語を思い浮かべながら撮影しました。



『みんなのひろば』投稿募集

問情報政策課 6階 ☎0287-23-8700
✉jouhou@city.ohatawara.tochigi.jp

●応募方法

Eメールに写真を添付し、本文に次の①～⑥を記入して情報政策課にお送りください。

①コーナー名

- ・我が家の『○○』(家族や自慢のレシピなどの紹介)
- ・いいとこ撮り(市内の風景・イベント写真の紹介)
- ・大田笑人(市内で活躍する個人・団体の紹介)

②写真のタイトル

③コメント(200文字程度)

④氏名とペンネーム(本名掲載を希望の場合は不要)

⑤住所(番地も記入。紙面には大字のみ掲載します。)

⑥電話番号

●注意事項

- *原則として受付順に掲載しますが、応募多数の場合は過去に一度も掲載されていない方を優先します。
- *掲載回数の上限は1人につき月1回かつ同一年内3回までとし、2号連続しての掲載は行いません。
- *掲載された場合の謝礼はありません。

※詳細は、市HPをご覧ください。



市史編さんだより vol.45

自然部会調査速報⑭
～コイは外来種?～

日本人にとってコイは文化的にも付き合いが古く、最も身近な淡水魚の一種です。古くは格の高い食材で、昨年放送された大河ドラマ「どうする家康」の中でも、料理に使われた淀川のコイをめぐるトラブルが起こった、有名なエピソードが描かれています。江戸時代にはコイの養殖が各地に広まり、観賞用の錦鯉の養殖も始まっています。中国大陸からのコイの移入は大昔から行われていたようですが、明治時代に入るとヨーロッパ、中国などから多くの大陸由来のコイが入って、今日まで続くコイの産地となりました。

2000年代に入ると、遺伝子解析により、日本在来のコイが琵琶湖の北部に現在でも生息していることが明らかになりました。それ以外の地域のコイは外来種と交雑が進んだり置き換わったりしたものと考えられます。

近年、生物多様性の観点から生態系の保全が重視されるようになり、寿命が長く旺盛な食欲をもつコイが新たに侵入すると、その生態系に大きな影響を及ぼすことが問題となっています。また、2003年に海外から侵入したコイヘルペスウイルスがコイ養殖業に大きなダメージを与えたことがきっかけで、魚病のまん延を防止するためにコイの放流は全国的に禁止されるようになりました。

日本庭園や日本各地にある小京都、小江戸と表現される景観を紹介する旅番組の映像には、コイの泳ぐ池、堀、水路がよく登場します。私もこのような映像に癒されます。日本にはすでに外来種が根付いていますが、まちづくりや観光のためでも、新たにコイを放流しようとする問題となります。ヒトとコイとがよりよい関係でいられるように、コイのことをもっと知る必要がありますね。

(自然部会 小川浩昭)



羽田沼のコイ

問文化振興課 A別館2階 ☎0287-47-5031